

2012年8月10日

組合員、賛助会員 各位

日本プラスチック日用品工業組合

## 【注意喚起】

### 100円ショップのシリコーンゴム製品から ホルムアルデヒドが検出されました

前略 平素は組合活動にご協力を頂き、ありがとうございます。  
さて、本日の朝日新聞に「100均商品から発がん物質 おしゃぶりやゴム製調理器具」というタイトルで記事が掲載されました。  
シリコーンゴム製品の調理製品や乳幼児用のおしゃぶりの一部から、化学物質のホルムアルデヒドが溶け出していたことが、東京都豊島区の調査で分かりました。  
本日、「朝日新聞の掲載記事」と「豊島区の試買テスト報告」を、参考にお送りいたします。  
対象となる製品を製造・販売している組合員の方は、ご一読頂きますようお願いいたします。

草々

記

#### 《注意喚起》

1. 朝日新聞  
「100均商品から発がん物質 おしゃぶりやゴム製調理具」
2. 平成23年度 豊島区 試買テスト報告 ー今、大人気のシリコン製品ー

以上

朝日新聞 社会

現在位置: 朝日新聞デジタル > 社会 > その他・話題 > 記事

2012年8月10日7時51分

223 | ブログに利用 | 10 | +1 | 5 | おすすめ | 66

100均商品から発がん物質 おしゃぶりやゴム製調理具

[PR] 気になるトピックス 提供: サントリー

40代、男の衰えに朗報!



最近、勢いが鈍りだした... みなぎる程の、男の自信を取り戻したい。(43歳 男性)

詳しくはこちら>>

100円ショップなどで売られたシリコーンゴム製の調理用品や乳児用おしゃぶりの一部から、化学物質のホルムアルデヒドが溶け出していたことが、東京都豊島区の調査でわかった。ホルムアルデヒドは発がん性が指摘され、調理用品や食器から検出されてはならないと食品衛生法などで定められている。

豊島区生活産業課は「濃度を調べていないので、危険と断定はできないが、問題提起で公表した。しかるべき機関で早急に分析してほしい」と言う。

豊島区消費生活センターが昨年度の商品テスト結果を公表した。昨年5月と9月、区内の100円ショップなどで、電子レンジ用蒸し器やオープン用ケーキ型、乳児用おしゃぶりなどシリコーンゴム製品24点を購入して調べたところ、調理用品20点と乳児用おしゃぶり2点の計22点で、ホルムアルデヒドの溶出を示す試薬の反応があったという。

22点のうち21点は中国製。日本製おしゃぶり1点からも検出された。いずれも100~300円という。シリコーンゴム製の調理用品は、レンジやオープンで使えるのが特徴で、ここ数年、人気となっている。

ホルムアルデヒドは、合成樹脂の原料や農薬などに広く使われ、35~37%水溶液はホルマリンとして知られている。アレルギーなどを引き起こすシックハウス症候群の原因物質の一つでもある。食品衛生法では、食器やおしゃぶりからの溶出は「陰性」(検出限界未満の値)でなくてはならないと定められている。

シリコーンゴム製品は加工の際、弾力や強度を高めるため添加剤を加えており、検出した22点では、その中の物質が加工の際の熱でホルムアルデヒドに変化したとみられる。ゴム製品に含まれている場合は、使い始める前に5分程度煮沸しておく、後で溶け出す量が減るとされる。

慶応大学理工学部の田中茂教授(環境化学)は「簡易なテストだが、調査方法は適切。専門機関が濃度などを詳しく調べるべきだ」と話す。(本山秀樹)

ホーム | ブログの反響

PR情報

- ・ 新規限定! 3ヶ月もの年率換算0.5%(金利+現金)じぶん銀行の円定期預金
- ・ あのサンダーバードが復活! 今度は会社になって人類レスキュー!
- ・ 【暑・熱】この夏、サーバーが暑い。今すぐクラウドに避暑しよう
- ・ 【急募】年収2000万円~2500万円の求人増加中! 年収UPを狙う20代~50代必見

おしゃぶり 発がん物質 調理用品 シリコーンゴム シックハウス症候群  検索

おすすめ

**エアウィーヴ (airweave)**  
 空気をあむという発想から生まれた、繊細な作りのマットレス。日本人のカラダ、日本の風土を考え抜

**その荷物の重さ大丈夫?**  
 旅行用の荷物や、宅配便の荷物の計測にマッキーノ「ラゲッジチェッカープラス」

**WEB新書**  
 ストレスで耳鳴り、めまい—メニエール病~患者を生きる~(朝日新聞)

新聞購読のご案内 | 朝日新聞 | 会社案内・事業紹介

**Beness Life Style いめのぎもち**  
 吠えないの!(怒) そのしつけ間違ってますか? 8/30 締切 詳しくはこちら

3日|4日|5日|6日|7日|8日|9日|10日  
 2日|3日|4日|5日|6日|7日|8日|9日

[PR]注目情報

**わが家、意外と高いかも?**  
 約60秒簡単入力⇒不動産無料査定で概算価格をチェック! <ノムコム>

注目コンテンツ

- ◆ リハビリ 失語症:1 声ってどう出すんだっけ
- ◆ 成功のカギは「運」 和久井クラレ会長
- ◆ 経済問題は税関発論の試金石だ
- ◆ 気持ちよくてやめられない「古事記」
- ◆ マイルス・スマイルズというふざけたバンド

どらく

**犬の暑さ対策に、意外な落とし穴?**  
 暑がる犬によかれと思ってやっていること、本当に大丈夫? ドッグアドバイザーが正しい暑さ対策を指南...

連載・テーマ

- 花まる先生 公開授業 | 宇宙がっこう
- おやじのせなか | 池上彰の新聞ななめ読み
- プロメテウスの翼・完全再録 | 追跡・橋下改革
- ニュースがわからない! | 患者を生きる
- かしこいおかず | アイタイキモチ | 西村欣也EYE | 就活応援

企画・連載一覧 | MYセレクト一覧

企画特集

- 保険の疑問に答えます:オリックス生命大藤社長
- <<新築マンション>>情報満載! :SUUMO[無料]
- 三菱東京UFJ銀行:住宅ローン選びのポイント
- キャンパス アサヒ・コム:大学トップが語る
- 上智大学:クリス智子氏多様な文化に触れた比文
- 大学院特集:ちょっとのぞいてみませんか
- あなたのひざは大丈夫?:簡単チェックができる
- 「Re:SOURCE」:企業が生成するメディア

動画

動画付き記事一覧 | 動画ページ



## 平成23年度 豊島区 試買テスト報告—今、大人気のシリコン製品



豊島区商品テスト指導員 里見 けい子

### 1. テストの目的

最近、調理に使用されているシリコンゴム製品などを調べ、区内で販売されているそれらについて実態調査し、区民に情報提供します。

### 2. テスト品目：市販のシリコンゴム調理用製品など

### 3. テスト対象品：区内の販売店より購入

### 4. テスト実施期間：平成23年4月～平成24年2月

### 5. シリコンゴム、およびプラスチック製品の性質について

ゴム製品には、プラスチックと同様の添加剤(安定剤、改質剤などのほか、ゴム分子同士の強い結合を作る加硫剤、加硫促進剤が加えられます。

そのためゴムには、プラスチックより化学物質が多量に含まれている可能性があります。これらの溶出を低く抑えるため、無機化合物の溶出総量(蒸発残留物)、加硫剤由来の亜鉛、加硫促進剤由来のホルマリン、酸化防止剤の分解物であるフェノール、添加剤不純物のカドミウムと亜鉛が規制されています。

また、ゴムは、プラスチックに比べて溶出量が多いので、使用前に5分程度煮沸をすると溶出量が減少することが知られている。

### 6. テスト項目及び方法:アセチルアセトン法によるホルムアルデヒドなどの検出及び煮沸5分後同条件の抽出液の比較、および原産地の調査

1) 抽出液の作成：90°Cの湯50mL中で、室温放置、120分後抽出2回行った。(テスト1,2)

2) テスト1、2：アセチルアセトン法によるホルムアルデヒドの検出

<方法>

① 抽出液5mLにアセチルアセトン試薬5mLを加え、水浴中で10分加熱する。

② 蒸留水5mLも同様にし、蒸留水より濃い黄色に呈色していれば、ホルムアルデヒドが溶出していたということになる。

3) テスト3：煮沸5分後同条件の抽出液でホルムアルデヒドの検出

<方法> テスト1、2と同様に行う。

## 7. テスト結果

	素材	検体数	テスト1 (検出数/検体数)	テスト2 (検出数/検体数)	テスト3 (検出数/検体数)
調理用品	シリコン樹脂	21	20/21	0/21	1/21
	ポリエチレン、ポリプロピレン	2	1/2		
	ポリプロピレン	2	1/2		
	スチロール樹脂	1	1/1		
	ポリスチレン	1	0/1		
	ABS樹脂	1	0/1		
	メタクリル樹脂	1	0/1		
乳児用品	シリコンゴム	3	2/3	0/1	0/1
	イソプレングム	1	1/1		
	ラテックス	1	0/1		
	ポリウレタンフォーム	1	1/1		
総数		35	27/35	0/22	1/22

製造原産地表示は 中国29、日本4、ドイツ2であった。

## 8. まとめ

- 1) テスト1とテスト2は、同じ製品を90℃の湯50ml中で、室温放置、120分後抽出を繰り返し、1回目(テスト1)はかなりの製品に検出したものが多かったが、2回目(テスト2)では1検体も検出しなかった。ただし、2回目は、シリコン製品に絞った。
- 2) テスト3は、さらに同じ製品を煮沸5分後、90℃の湯50ml中で、室温放置、120分後の同条件の抽出液から検出した結果、1検体だけ陽性と判定された。2回目には検出されなかったのが、テスト3で1検体が検出された理由は、煮沸5分の加熱の影響であろうと考えられるが、繰り返しテストができなかったためと、溶出試験が簡易な定性試験のため、理由は断定できない。ただし、2回目同様、シリコン製品に限っている。
- 3) 以上の結果から、抽出を繰り返すと、ホルムアルデヒドが検出される頻度は明らかに減った。このような製品を使用開始する際には、各家庭でできることとしては、まずは、よく洗い、少なくとも5分程度の煮沸が必要ではないかと思われるが、今回はあくまでも簡易な定性試験の結果で、定量試験もしなければ、この結果をして安全か、危険かどうかの断定はできない。しるべき分析機関で、さらなる、早急で、詳細な分析結果の公開を望みたい。
- 4) 家庭用品としては新素材のシリコンゴム製品の調理器具、乳児用品をしらべてみた。1980年代に欧米では乳幼児が使う乳首やおしゃぶりについて一般のゴム製品より厳しい規格基準が設定され、日本でもそれに応じた規制がされたということだが、最近流行の調理器具についての情報が、少ないのが気になるところだ。

以上